

1



障害のある人が地図がわからなくて困っている。

2



道に迷ったみたい。どうしよう…。

3



そこへ通りかかる「すけだちくん」。

4



あっ! あのカードは「ヘルプカード」!

5



よし! 拙者がすけだちいたす!

6



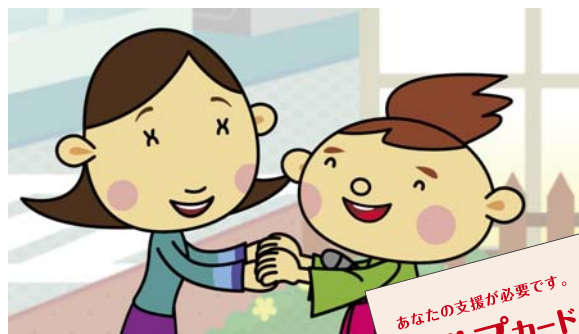
「ヘルプカード」の裏面には、障害のある人が手助けしてほしい内容が書いてあります。

7



記載内容にそった支援をお願いします。

8



ちょっとした手助けで一安心。



障害のある人に「どう支援したらよいかわからない…」や「障害のことがわからない…」、「困っているのでは?と気になるけど…」と思ったことはありませんか。

ちょっとしたあなたの手助けが
障害のある人の安心につながります。

【平成25年2月】
登録番号(24)205

●製作・編集
社会福祉法人東京都社会福祉協議会
〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1
TEL.03-3268-7171 FAX.03-3268-7433

●発行
東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL.03-5320-4144 FAX.03-5388-1407

くわしくは東京都福祉保健局のホームページをご覧ください。

ヘルプカード 東京 検索

東京都福祉保健局障害者施策推進部

ヘルプカードとは

障害のある人には、自ら「困った」となかなか伝えられない人がいます。手助けが必要なのに、「コミュニケーションに障害があって、困ったことをなかなか伝えられない人」、「そもそも困っていることを自覚できない人」もいます。「ヘルプカード」は、障害のある人が普段から身につけておくことで、緊急時や災害時、困った際に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。

どこで手に入るの

カードをどのように作成して配布するかは、実際に作成する都内区市町村が決めていきます。

障害のある人が困っていたら、
ちょっとした配慮や手助けを
お願いします。

一緒に、
すげだち
いたそう。

障害のある人が困っていたら

- 「どうしましたか？」と声をかけてください。
- 相手に伝わっているか確かめながらゆっくり話してください。
- ヘルプカードを持っていたら、裏面に手助けしてほしい内容が記載されています。
- 裏面の記載内容は、障害のある人一人ひとり違います。下記は記載例です。

下に連絡してください。

私の名前：東京太郎

連絡先：×××-××××-××××

連絡先名：東京花子

私は耳が不自由です。(下記を指差して聞いてください。)

- ①筆談で話してください。
- ②手話ができる人を探しています。
- ③何が起きているのか紙に書いてください。
- ④電話してください。
警察/消防/救急車/タクシー

ちょっとした
あなたの手助けが
障害のある人の安心に
つながります。

